

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 10件

1 ^{さんのうぼういせき} **山王坊遺跡【青森県五所川原市】**

14世紀中頃から15世紀中頃の神仏習合の建物配置が極めて良好に残るだけでなく、
^{じゅうさんこ}十三湖を中心に分布する史跡^{とさみなといせき}十三湊遺跡や福島城跡などと一体のものとして、中世的な
景観を構成するとともに、京都と中世国家の境界領域との交流を具体的に示す重要な遺
跡。

(中世的な景観を色濃く留める、極めて良好に残る中世宗教遺跡)

2 ^{おがさわらししろあと} **小笠原氏城跡**

^{いがわじょうあと}
井川城跡

^{はやしじょうあと}
林城跡

【長野県松本市】

平地に築かれた井川城と山城の林城から成る信濃守護小笠原氏の居城跡。室町時代から
戦国時代に至る領主の居城の在り方を示すとともに、室町幕府や鎌倉府、上杉、徳川、北
条といった信濃を取り巻く諸勢力の政治、軍事的な動向を知る上でも重要である。

(室町時代から戦国時代に至る領主の居城の在り方を示す信濃守護小笠原氏の居城跡)

3 ^{たかしまはんしゅすわけぼしよ} **高島藩主諏訪家墓所【長野県諏訪市・茅野市】**

信濃国諏訪大社の神職、諏訪の領主として古代以来の氏族である高島藩主諏訪家の墓
所。初代藩主^{よりみず}頼水とその両親の墓がある^{らいがくじ}頼岳寺と、2代以降の墓がある^{おんせんじ}温泉寺に分かれる。
江戸で没しても諏訪で葬られ、墓標は巨大で形状は独特のものであり、近世大名の墓所の
在り方を知る上で重要である。

(信濃国諏訪大社の神職、諏訪の領主として古代以来の氏族である高島藩主諏訪家代々の
墓所)

4 ひがしちやうだふんぼぐん 東町田墳墓群【岐阜県大垣市】

弥生時代終末期から古墳時代前期にかけて築造された古墳を含む墳墓群。同一の墓域で円形墳丘墓・方形周溝墓・前方後方墳・方墳という多様な形状の墳墓及び古墳が築造され、東海地域における古墳成立期の様相を知る上で重要な事例である。方形周溝墓出土の絵画土器は当時の葬送観念を知ることができるという点でも重要である。

(東海地域における古墳成立期の様相を知ることができる墳墓群)

5 みなくちおかやまじやうあと 水口岡山城跡【滋賀県甲賀市】

豊臣政権により甲賀の支配と東国の抑えのために築城された、保存状態が良好な織豊系城郭であり、政治的、軍事的に重要な城跡。出土遺物から築城や整備に伴う資材調達の様子が具体的に分かり、当時の築城の在り方を知る上でも重要である。

(豊臣政権による甲賀支配と東国の抑えのために築城された政治、軍事的に重要な城跡)

6 はしはかこふんしやうごう 箸墓古墳周濠【奈良県桜井市】

墳長290m前後にも及ぶ突出した規模をもつ出現期の古墳。定型化した巨大前方後円墳の出現だけでなく、大和政権の誕生や発展過程及び当時の社会状況を知る上で重要である。

(突出した規模をもつ出現期の古墳であり、大和政権の形成過程や当時の社会状況を知る上で重要な古墳)

7 ひこさん 英彦山【福岡県田川郡添田町】

みなみだけ 南岳・きただけ 北岳・なかだけ 中岳の3峰から成る信仰の山であり、我が国を代表する山岳信仰の遺跡。中岳山頂に英彦山神宮の上宮じやうぐうが建ち、山頂には末法思想に基づく経塚が多数営まれた。また、玉屋般若窟はんにやくつに代表される修行窟しゆぎやうくつが整備され、谷ごとに院坊が配置された。我が国の修験・仏教・神道の信仰の在り方を考える上で重要である。

(南岳・北岳・中岳の3峰から成る信仰の山であり、我が国有数の修験道場)

8 こぐまやまこふん 小熊山古墳・おとうやまこふん 御塔山古墳【大分県杵築市】

こぐまやまこふん 小熊山古墳は九州では最古級の円筒埴輪が出土する大型前方後円墳、おとうやまこふん 御塔山古墳は様々な形象埴輪けいしやうはにわが出土する大型円墳で、別府湾北岸に位置する。九州における古墳時代開始期から中期にかけての展開状況を知る上で重要である。

(九州における古墳時代開始期から中期にかけての展開状況を知る上で重要な2基の巨大古墳)

9 おもなわかいづか 面縄貝塚【鹿児島県大島郡伊仙町】

奄美・沖縄地域の縄文時代における海岸砂丘上及び石灰岩地帯せっかいがんに立地する集落遺跡の典型。九州島と沖縄地域との中間に位置しており、両者の関係性の解明にとって重要である。
(奄美・沖縄地域における縄文時代の集落の立地や構造を示す典型的な遺跡)

10 きただいとうじまりんこうざんいせき 北大東島燐鉱山遺跡【沖縄県島尻郡北大東村】

大正8年(1919)から昭和25年(1950)まで、主に化学肥料の原料として重要視された燐鉱石を採掘した鉱山遺跡。燐鉱石の採掘・乾燥・運搬・貯蔵・積出に至る一連の生産施設が残る。我が国の近代農業を支えた燐鉱採掘産業の歴史を知る上で重要である。
(近代、主に化学肥料の原料となった燐鉱石を採掘した鉱山遺跡)

【史跡及び名勝】 1件

1 よこやまたいかんきゆうたくおよ ていえん 横山大観旧宅及び庭園【東京都台東区】

近代日本を代表する画家横山大観(1868～1958)の自宅兼画室及び庭園。明治41年(1908)より居住し、東京大空襲で焼失するも昭和29年(1954)に同じ場所に再建された。多くの作品をここで描き、自ら植栽の指示を行い、庭の風景を画題に選んだ。
(近代日本を代表する画家横山大観(1868～1958)の自宅兼画室及び庭園)

【名勝】 1件

1 きゅうりゅうしやういんていえん 旧龍性院庭園【愛知県豊田市】

さなげやま 猿投山の南麓に位置する近世に造られたと考えられる庭園。龍性院は廃仏毀釈により廃寺となったが、庭園は残り、江戸期の絵図に描かれた池泉や築山の様子を今に伝える。
(猿投山の南麓に位置する近世に造られたと考えられる庭園)

【天然記念物】 2件

1 ^{くに}六合チャツボミゴケ^{せいぶつぐんしゅう}生物群集^{てっこうせいせいち}の鉄鉱生成地【群馬県吾妻郡中之条町】

元山川の源流部に位置し、群馬鉄山跡。鉄や硫黄に富むp h 2. 6～2. 9の強酸性の河川において、チャツボミゴケやバクテリアなどの微生物の生物活動の副産物として鉄鉱が生成されている渓谷である。

(酸性河川である元山川源流部の群馬鉄山跡で、鉄鉱を生成する微生物やコケの生息地)

2 ^{かつやまきょうりゅうかせきぐんおよ}勝山恐竜化石群^{さんち}及び産地【福井県勝山市】

中生代白亜紀前期(約1億2千万年前)の地層(手取層群北谷層)から見つかったフクイラプトルなど5種の陸生大型ハ虫類である恐竜の骨格化石の標本とその産地である。標本はいずれも新種記載されたもので、全身の約70%以上の骨格化石がそろった標本があるなど、保存状態が極めて良好である。

(日本有数の恐竜化石の多産地と産出した恐竜化石標本)

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】 2件

1 ^{きくちしちやしつ}菊池氏茶室^{かんきよ}(^{ていえん}碓居)庭園【東京都港区】

昭和40年に建築家堀口捨己が茶室とともに造った庭園。広場と茶室周りの露地から成り、露地は外露地と、秋草の庭である内露地に分かれる。地形を巧みに活かして造られた庭園は、茶室と一体となって趣ある空間を形成している。

(昭和40年に建築家堀口捨己が茶室とともに造った庭園)

2 ^{まつだや}松田屋ホテル^{ていえん}庭園【山口県山口市】

大正初期に山口市湯田温泉の温泉宿に整えられた池泉庭園。庭園に面する建造物も明治から大正にかけて造られたもので、庭園と建物が一体となった空間がよく保存されている。

(大正初期に温泉宿に整えられた池泉庭園)

《重要文化的景観の新選定》

【重要文化的景観】 1件

1 おくうち たな だおよ のうさんそんけいかん 奥内の棚田及び農山村景観【愛媛県北宇和郡松野町】

四万十川水系奥内川上流の山間部を開墾した小規模な棚田群から成る文化的景観である。四国南西部の山間部における厳しい地形条件の中で江戸時代以来現在まで継続されてきた生活又は生業を知る上で重要な景観地である。

(平坦地が少ない四国南西部の厳しい地形条件の中で江戸時代以降継続されてきた棚田の農山村景観)